



各 位

日本マクドナルドホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 サラ・エル・カサノバ  
 (コード番号: 2702 JASDAQ)  
 問い合わせ先 財務本部執行役員 今村 朗  
 TEL 03-6911-6000

## 平成 26 年 12 月期通期連結決算状況

日本マクドナルドホールディングス株式会社の平成 26 年 12 月期 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日) の連結業績について下記の通りご報告致します。

**ハイライト**

- 上海福喜問題の影響により、売上高、利益ともに対前年比で大幅な減少
- お客様の当社商品に対する信頼を回復するとともに、「価格政策」「メニュー改革」「店舗環境の刷新」「お客様とのつながり」の分野においてお客様の目に見える変化を起こすことに注力

## 1. 平成 26 年 12 月期通期連結決算状況

(単位: 百万円)

	平成 26 年通期		
	実績	対前年比	
全店売上高*	446,307	-58,151	-11.5%
連結売上高	222,319	-38,121	-14.6%
連結営業利益	-6,714	-18,238	-
連結経常利益	-7,974	-18,210	-
連結当期純利益	-21,843	-26,981	-

\*全店売上高: 直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

	平成 26 年通期	
	対前年比	
既存店売上高	-11.2%	
既存店客数	-11.2%	
全店客数	-12.0%	

平成 26 年度につきましては、上海福喜問題による影響により売上高が大きく減少いたしました。この売上高の減少に伴う影響に加え、原材料の廃棄費用等の当問題に関連する費用の計上やお客様の当社商品に対する信頼を取り戻し、事業を迅速に回復させるための投資を積極的に行った結果、利益につきましても対前年比で大幅な減少となりました。

平成 27 年度につきましても、年初に異物混入事例が発生したことにより売上高の減少が続いておりますが、「すべてを、お客様のために」という理念のもと、当社商品に対する信頼を回復し事業を回復させるために全力で取り組んでいき、安全でおいしい商品をいつでもご提供できるように努めてまいります。また、当社商品に対する信頼回復に全力で取り組むことに加え、お客様のニーズである「価格政策」、「メニュー改革」、「店舗環境の刷新」そして「お客様とのつながり」に注力し、お客様の目に見える明確な変化を起こしてまいります。

なお、本日現在、異物混入事例の発生によるビジネスへの影響を合理的に見積ることができないため、平成 27 年 12 月期の連結業績予想を未定としております。開示が可能となった時点で速やかに、新しい連結業績予想をお知らせいたします。

以上

※この資料は兜倶楽部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。